

新宗教新聞

信教の自由を守ろう
信仰心を広めよう
宗教協力を進めよう
世界の平和に貢献しよう

新宗連スローガン

理事会

新宗連

新日本宗教団体連合会(新宗連、保橋秀樹理事長)は3月7日午後1時15分から、東京・代々木の妙智會教団本部で第29期第6回理事会を開催した。審議事項では平成30年度事業計画案、収支予算案を原案通り承認した。また、来年度の重点事業の一つである、全国の総支部・協議会で開催する「憲法改正と国民投票」に対する理解を深める平和学習会のテキスト案が示された。

事業計画・予算を承認

憲法改正 平和学習会テキスト案を示す
国民投票

新日本宗教団体連合会(新宗連、保橋秀樹理事長)は3月7日午後1時15分から、東京・代々木の妙智會教団本部で第29期第6回理事会を開催した。審議事項では平成30年度事業計画案、収支予算案を原案通り承認した。また、来年度の重点事業の一つである、全国の総支部・協議会で開催する「憲法改正と国民投票」に対する理解を深める平和学習会のテキスト案が示された。

東日本大震災から7年 3・11を忘れない
宗教者が慰霊、復興祈る

東日本大震災から7年になる3月11日、東北では大和教団(保橋秀樹教主)が仙台市の大和神社で「東日本大震災7周年追悼慰霊」の報告、宗法研究報告、宗法研究報告など、復興祈念を重んじ、新宗連加盟教団に「三憲憲則」などの提出を求めるとともに、新宗連加盟教団本部を会場に開かれた理事会で報告が行われた。

第5回 現代社会と信教の自由公開講座

「憲法と宗教」で基調発題

天皇陛下の「おことば」テーマに「白熱教室」も

新宗連信教の自由委員会(信教委)は、3月9日午後1時から、東京都杉並区のアトリオホールで「第5回現代社会と信教の自由公開講座」を開催した。テーマは「憲法と信教の自由」で、信教委の委員が講師を務めた。はじめに本山一博委員長が挨拶し、新宗連において「信教の自由」が「それ



木村 卓太氏

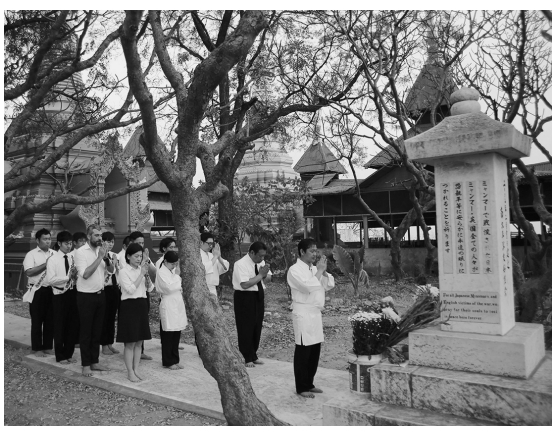


小林 正弥氏

その宗教団体が自由に活動できること」と考えられていたことに対して、むしろ「個人の信じた宗教を信じられる」ということが「信教の自由」の本質にあると考え直し、団体から個人へと焦点の転換が果たせることを目指す。また、今後の課題として「共同体と個人」を挙げ、神社神道のな共同体における信仰のあり方と、個人の自由が矛盾する点を説明し、この点を神道と議論することで「信教の自由」の議論を一段進めたい」と展望を語った。

タイ、ミャンマーで慰霊
第26次アジア青年平和使節団を派遣

新宗連青年会



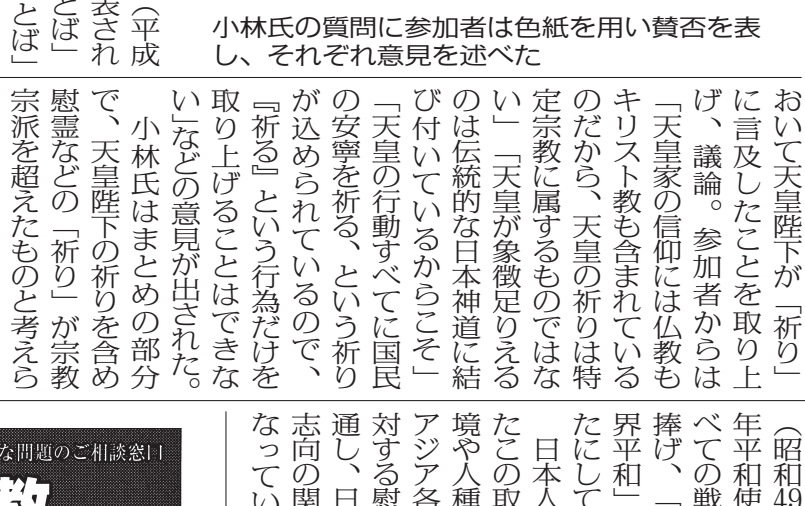
マンダレーヒルでの慰霊祭(2月23日)

新宗連青年会(岩瀬明大委員長)は2月19から25日まで、第26次アジア青年平和使節団をタイ王国とミャンマーに派遣した。今回の使節団には5教団(白心教、松嶺神道大和山、善隣

滔々抄

本州では桜の開花が報道されましたが、北海道深川市にある当院境内には高さ10メートルの桜が咲き誇っています。そこで今回は、あつたかいラーメン屋さんの体験談。
手話で注文し店を訪れる感動
支払いの際、私は客様に驚かされた。注目のカウンター席に座り、注目の醤油チャーシュー麺(め)を食べ始めたとき、店員の1人がオーダーを取り、もう一人はメモしながら復唱していきます。全員が好むラーメンを注文し終わると、すぐ厨房は調理に取りかかり、テーブル席のお客たちは笑顔で互いに手話を動かしています。見ていて私は胸が熱くなっ

小林氏の質問に参加者は色紙を用い賛否を表明



小林氏の質問に参加者は色紙を用い賛否を表明し、それぞれ意見を述べた

小林氏は2016(平成28)年8月8日に発表された天皇陛下の「おことば」を重要と感じたか、憲法上の疑問を参加者に投げかけ、参加者はそれぞれ意見を表明した。
その中で、「おことば」に

宗教めぐるさまざまな問題のご相談窓口
宗教もしも相談室
03-3466-9900
受付 月曜～金曜 午前10時～午後4時

憲法における「信教の自由」
日本国憲法において「信教の自由」は、第20条と第89条で規定されている。第20条では「信教の自由は、何人に対してもこれを保障する」とし、続く条文では特定の宗教団体が特権を受けたり公権力行使したりしてはならないと定めている。また、何人も宗教活動への参加は強制されず、国及びその機関は「宗教教育」も「宗教的活動」もしてはならないとされ、第89条では公金を宗教団体に使用することを禁じ、「政教分離」を明確にする。(1面)

解脱会
新編 解脱金剛伝 全3巻
A5判 上製函装 定価3000円(税込)
TEL 03-3533-2191

清文社
宗教法人の
税務調査対応ハンドブック
石村耕治 編
A5判 378円
TEL 03-6273-7946

芸術生活社
老春詠歌 長生きの秘訣
御木徳近著
TEL 03-5970-7421

南雲堂
美容と健康寿命の秘訣!
認知症予防★お口の体操
DVD
監修 作詞 太田哲二
TEL 03-3268-2311

佼成出版社
「宗教者の役割」「信仰の本質」を問う異色の評伝
〈大逆事件〉と
禅僧内山愚童の抵抗
眞田芳憲
TEL 166-8535

白馬社
合掌ができない
子どもたち
浄土真宗本願寺派福智院住職
三上章道
TEL 7612-8489

ハーベスト社
世界宗教に関する初めての本格的な研究
療術から宗教へ
世界宗教の教団組織論的研究
隈元正樹著
TEL 042-467-8661

すべての戦争犠牲者を慰霊供養 先師先達の思い継承へ 第26次アジア青年平和使節団



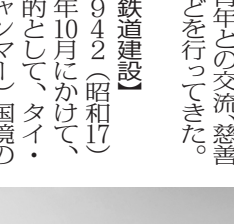
新宗連青年会が建立したサンチャプーンで平和祈
念式典を執行(21日/ナムトク)

第26次アジア青年平和使節団

【本報バングラデシュ・ミャンマー・タイ・カンボジア特派員】新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)が、2月19日から25日までタイ王国とミャンマーを訪問し、第26次アジア青年平和使節団として派遣された。初日の19日は午後2時から、東京・浜松町のホテルで結団式と事前学習会を開催した。結団式で岩瀬明大委員長は、第50回「18・14式典」・終戦70年特別事業のテーマとして掲げた「私のことばで伝えたい」を紹介し、「使節団を通して感じたことを、皆さんの言葉で伝えていって下さい」と述べた。

事前学習会は、宗教評論家の清水雅人氏(新宗連青年会初代事務局長)を講師に、使節団派遣の経緯、ミャンマーの現状などについて学んだ。清水氏は「知っている手と合せての手、知らないで行くのとは大違い」と語り、使節団の意義を説き、「是非今後も続けていって下さい」と激励した。

【説明①使節団派遣の経緯】山脈を越える長さ415キロにおよぶ軍事境界線を敷いた、日本軍指もつ「ドゥアムラ・R.A.L.W.A.Y.(ドゥアムラ・ラ・ワヤ)」が、ミャンマーの国境を挟み、タイ・ビルマはヒルマ(タイ)とシアン(ビルマ)の間に存在する。この地は旧泰緬鉄道(旧の参謀)が現存し、先の大戦(大東亜戦争)で最も過酷な環境のなかで、日本軍は海軍による空襲と陸軍による地上戦を繰り返した。この地は旧泰緬鉄道(旧の参謀)が現存し、先の大戦(大東亜戦争)で最も過酷な環境のなかで、日本軍は海軍による空襲と陸軍による地上戦を繰り返した。



【説明②泰緬鉄道建設】

【説明③ヒルマ方面の戦い】1941(昭和16)年12月から1945(昭和20)年8月にかけて、イギリス領ビルマの西部地域をめぐり、日本軍、インド国民軍、インド国民同盟軍を中心に激戦を繰り返した。この戦いで日本軍は、対陣のマンダラーヒル(ヒルマ)を占領し、ミャンマーの首都ナグパットンを陥れた。



ミャンマーのクドオド・パゴダ

タイ日本人有志が毎年慰霊祭を行っているという。永瀬氏が建立したクワイ河平和祈念堂(クワイ河橋)は、戦時中、クワイ河鉄橋を築いた。この地は旧泰緬鉄道(旧の参謀)が現存し、先の大戦(大東亜戦争)で最も過酷な環境のなかで、日本軍は海軍による空襲と陸軍による地上戦を繰り返した。

【説明④】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。



【説明⑤】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。

新宗連京都府協が担当 松緑神道大和山が奉仕 京都市深草墓園 春季慰霊祭

京都市が主催する「京都市深草墓園春季式典」が3月17日午前10時から、京都市伏見区深草の同墓園で開かれた。新宗連京都府協は、この式典に担当し、松緑神道大和山(田澤清喜教王の埋葬所)が奉仕した。式典には、新宗連京都府協の役員らも参加した。

新宗連 動き 協議会

【本報バングラデシュ・ミャンマー・タイ・カンボジア特派員】新宗連青年会連盟は、3月14日、東京・代々木の新宗連会館で「平成29年度第6回委員会」を開催した。各報告の後、平成30年度の活動について協議を行った。

【説明⑥】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

第35回庭野平和賞 中東における和解放に 取り組む「アディアン財団」に

庭野平和財団(庭野日鏡理事長)が、2月19日、京都市内のホテルで記者会見を行い、第35回庭野平和賞を「アディアン財団」に贈呈することを発表した。アディアン財団は、2006(平成18)年、レバノンの共闘で設立されたNGOである。

庭野平和財団が記者会見 中東における和解放に 取り組む「アディアン財団」に

庭野平和財団(庭野日鏡理事長)が、2月19日、京都市内のホテルで記者会見を行い、第35回庭野平和賞を「アディアン財団」に贈呈することを発表した。アディアン財団は、2006(平成18)年、レバノンの共闘で設立されたNGOである。

宗連 青年 新青

シンボ 死刑制度の廃止を求めて 憲法や国際規約から課題問う

【本報バングラデシュ・ミャンマー・タイ・カンボジア特派員】日本弁護士連合会(日弁連、中本和洋会長)は3月5日午後1時から、京都市南区の龍谷大学善徳ホール校友会館でシンポジウム「死刑制度の廃止を求めて」を開催した。

【説明⑦】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑧】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑨】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑩】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑪】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑫】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑬】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑭】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑮】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑯】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑰】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑱】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

【説明⑳】の激戦地であるマンダラーヒル、サカイ、ヒルマ、クドオド・パゴダを参拝した。一行はマンダラーヒルへ向かい、マンダラーヒルを参拝した。

NPO法人 国際ピフンダーズ
東京自殺防止センター
03-5286-9090
年中無休、夜8時から翌朝6時まで
火曜のみ午後5時から翌朝6時まで
〒169-0072 東京都新宿区大久保3-10-1 日本基督教団シロアム教会内
事務局電話番号 03-3207-5040 (FAX 03-3207-5098)

●全国にある他の自殺防止センター
国際ピフンダーズ 大阪自殺防止センター
06-6260-4343 毎週金曜、午後1時から日曜、午後10時まで
国際ピフンダーズ 宮崎自殺防止センター
0985-77-9090 毎週日曜・月曜・水曜・金曜、午後8時から午後11時まで
国際ピフンダーズ 熊野自殺防止センター
05979-2-2277 毎月第1金曜、午後8時から11時まで
国際ピフンダーズ 岩手自殺防止センター
019-621-9090 毎週土曜、午後8時から午前4時まで
国際ピフンダーズ あいち自殺防止センター
052-870-9090 毎週金曜、午後8時から11時まで

ひとりで悩まず電話して!
ホントにつらい時って誰にもいえない…よね。

●必要に応じて面接をしています。
●手紙でのご相談にも応じています。
●秘密は守られます。
●相談は無料です(通話料はかかります)。
●金銭的な援助はできません。
●医療・法律・教育関係の助言や指導は、専門家をお願いします。
●特定の思想・宗教・政党などは一切関係ありません。

教団創立80周年記念式典 立正佼成会

開祖の精神を体して 宗教協力の推進を称える

立正佼成会(庭野日鏡会)理事長が全国3カ所と中継... 3月5日午前9時から、東京・杉並の本部・大聖堂で「教団創立80周年記念式典」を執り行った。

未来のため親が手本を 御開祖さま御生誕祭 大慧會教団

大慧會教団(石倉恒男会長)は3月3日午前11時半から、大阪府堺市の本部本館講堂で「法明さま(石倉保助師)120年、普明さま(石倉マツエ師)113年の生誕を祝う」御開祖さま御生誕祭を執り行った。

感謝が「敬愛」の基礎に 春季大祭を斎行 天恩教

天恩教(鉢呂神龍教主)は3月18日午前11時半から、京都府笠置町の本庁前にて「春季大祭」を斎行した。

東日本大震災から7年—各地で式典、催事 慰霊、復興を祈願

大和教団(保積秀胤教主)は3月11日午後1時から、仙台市の大和神社祈禱殿で「東日本大震災7周年追悼慰霊祭並びに復興祈念祭」を斎行した。

青森県平内町の松緑神道大和山(田澤清喜教主)は3月11日午後2時46分から、宮城県宮城郡布教センター(岩手県の金石道場、大船渡道場、宮古道場の被災地4会場において「東日本大震災慰霊祭」を開催した。

世界宗教者平和会議日本委員会(WCRPJ)は、3月14日午後2時から、福島県浪江町の太平洋山霊園で「東日本大震災の追悼と鎮魂」並びに復興祈念祭を執り行った。

「御鈴神事」を行い、齋主はじめ参列者が玉串を奉奠した。齋主の保積志胤(保積理)と祭司が祈禱に参進し、「開祭詞」を奏上し、「降霊の儀」の後、参列者の手により神前大前に献灯が供えられた。「齋主拝礼」の後、祝詞を奏上し、「十表破」「火水による浄霊神事」

「希望のともし火」に換えて、神を迎える心を養うべく、祈りの大事さを説いた。最後に、一人ずつ焼香をして深い祈りを捧げた。各会場とも、修政、聖歌「霊魂の歌」を奉唱後、「天津祝詞」と「東日本大震災鎮魂祈願祝詞」を奏上して御霊の鎮魂を祈願した。

式典では、WCRPJ日本委員理事で同東日本大震災復興タスクフォース責任者の黒住宗道氏(黒住教教主)があいさつに立ち、「震災がある苦しみや悲しみがますます深刻化・複雑化する中で、復興が叶いますように、心から追悼と鎮魂、祈りを捧げさせていただきます」と述べた。

「御鈴神事」を行い、齋主はじめ参列者が玉串を奉奠した。齋主の保積志胤(保積理)と祭司が祈禱に参進し、「開祭詞」を奏上し、「降霊の儀」の後、参列者の手により神前大前に献灯が供えられた。「齋主拝礼」の後、祝詞を奏上し、「十表破」「火水による浄霊神事」

「希望のともし火」に換えて、神を迎える心を養うべく、祈りの大事さを説いた。最後に、一人ずつ焼香をして深い祈りを捧げた。各会場とも、修政、聖歌「霊魂の歌」を奉唱後、「天津祝詞」と「東日本大震災鎮魂祈願祝詞」を奏上して御霊の鎮魂を祈願した。

式典では、WCRPJ日本委員理事で同東日本大震災復興タスクフォース責任者の黒住宗道氏(黒住教教主)があいさつに立ち、「震災がある苦しみや悲しみがますます深刻化・複雑化する中で、復興が叶いますように、心から追悼と鎮魂、祈りを捧げさせていただきます」と述べた。

政府主催の追悼式典に合わせ、大震災の発生した午後2時46分に一分間の黙祷を捧げた。最後に、創作和太鼓「幻創」による「復興祈念」大和太鼓が演奏され、参列者一同は、新生復興への決意を新たに誓った。

「希望のともし火」に換えて、神を迎える心を養うべく、祈りの大事さを説いた。最後に、一人ずつ焼香をして深い祈りを捧げた。各会場とも、修政、聖歌「霊魂の歌」を奉唱後、「天津祝詞」と「東日本大震災鎮魂祈願祝詞」を奏上して御霊の鎮魂を祈願した。

式典では、WCRPJ日本委員理事で同東日本大震災復興タスクフォース責任者の黒住宗道氏(黒住教教主)があいさつに立ち、「震災がある苦しみや悲しみがますます深刻化・複雑化する中で、復興が叶いますように、心から追悼と鎮魂、祈りを捧げさせていただきます」と述べた。

政府主催の追悼式典に合わせ、大震災の発生した午後2時46分に一分間の黙祷を捧げた。最後に、創作和太鼓「幻創」による「復興祈念」大和太鼓が演奏され、参列者一同は、新生復興への決意を新たに誓った。

「希望のともし火」に換えて、神を迎える心を養うべく、祈りの大事さを説いた。最後に、一人ずつ焼香をして深い祈りを捧げた。各会場とも、修政、聖歌「霊魂の歌」を奉唱後、「天津祝詞」と「東日本大震災鎮魂祈願祝詞」を奏上して御霊の鎮魂を祈願した。

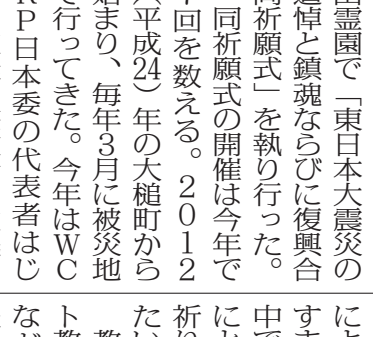
式典では、WCRPJ日本委員理事で同東日本大震災復興タスクフォース責任者の黒住宗道氏(黒住教教主)があいさつに立ち、「震災がある苦しみや悲しみがますます深刻化・複雑化する中で、復興が叶いますように、心から追悼と鎮魂、祈りを捧げさせていただきます」と述べた。



石倉次代会長を導師に「大乗教典」を奉読



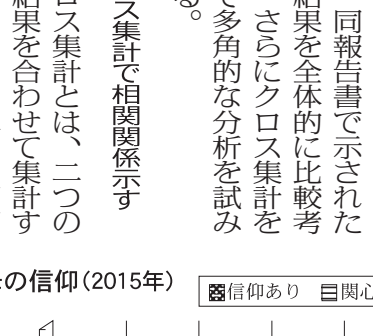
玉串を奉じて受け取る鉢呂教主



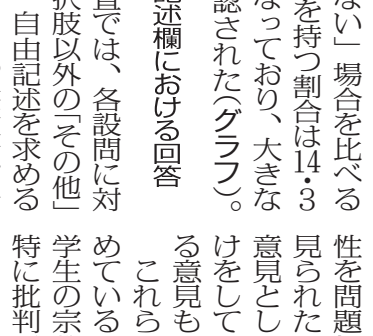
参列者は「御神酒」「撒飯」を拝受した



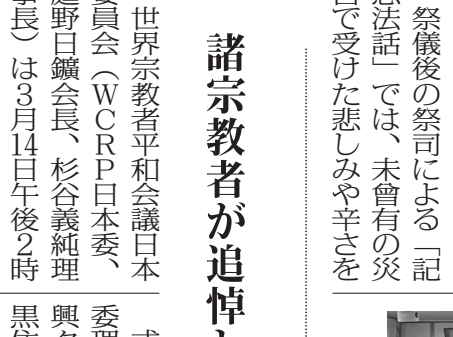
釜石道場の慰霊祭



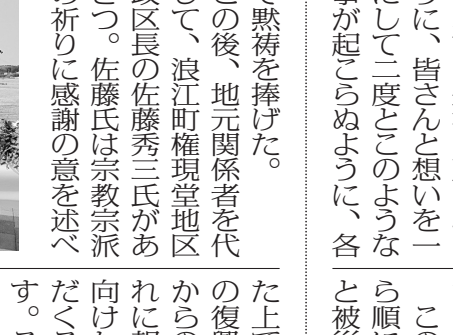
宮本法嗣が心を込めて焼香



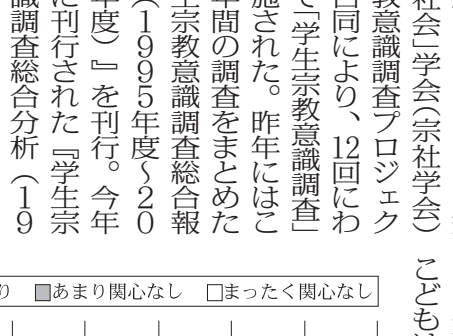
砂浜で慰霊祭。新井会長はじめ全員で合掌



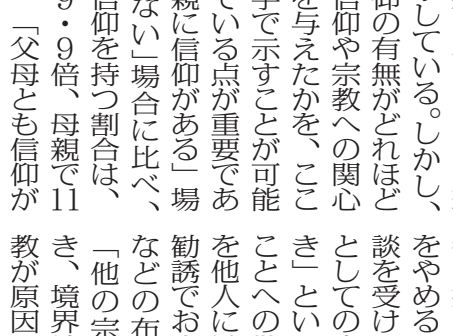
釜石道場の慰霊祭



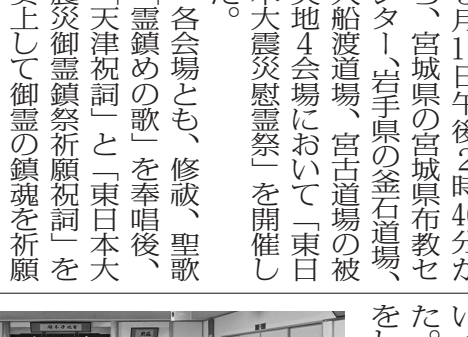
宮本法嗣が心を込めて焼香



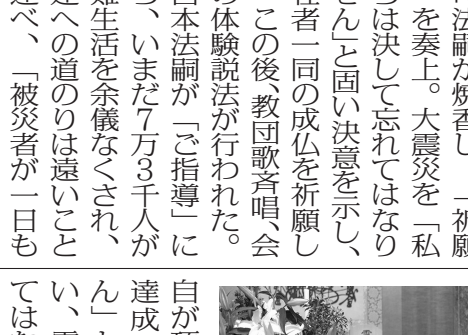
砂浜で慰霊祭。新井会長はじめ全員で合掌



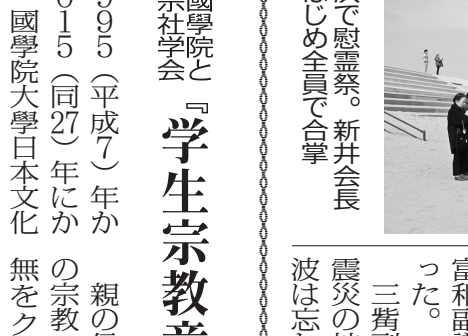
参加教団の5人が祈りを込めて玉串を奉納



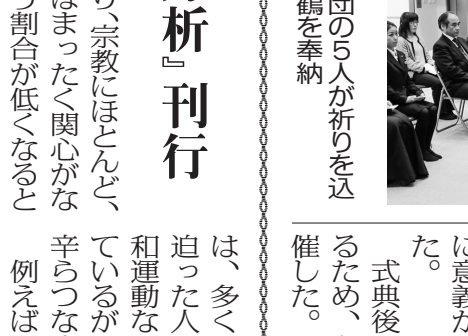
釜石道場の慰霊祭



宮本法嗣が心を込めて焼香



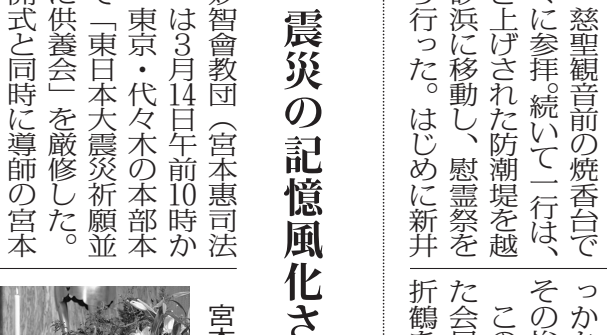
砂浜で慰霊祭。新井会長はじめ全員で合掌



参加教団の5人が祈りを込めて玉串を奉納



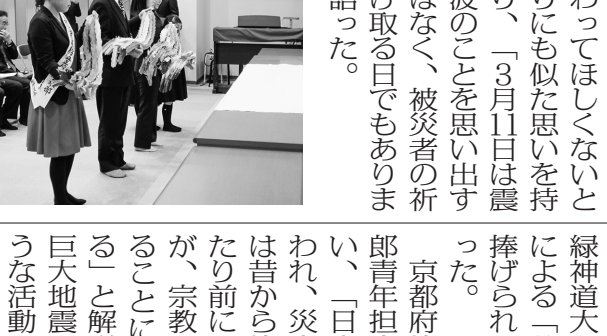
釜石道場の慰霊祭



宮本法嗣が心を込めて焼香



砂浜で慰霊祭。新井会長はじめ全員で合掌



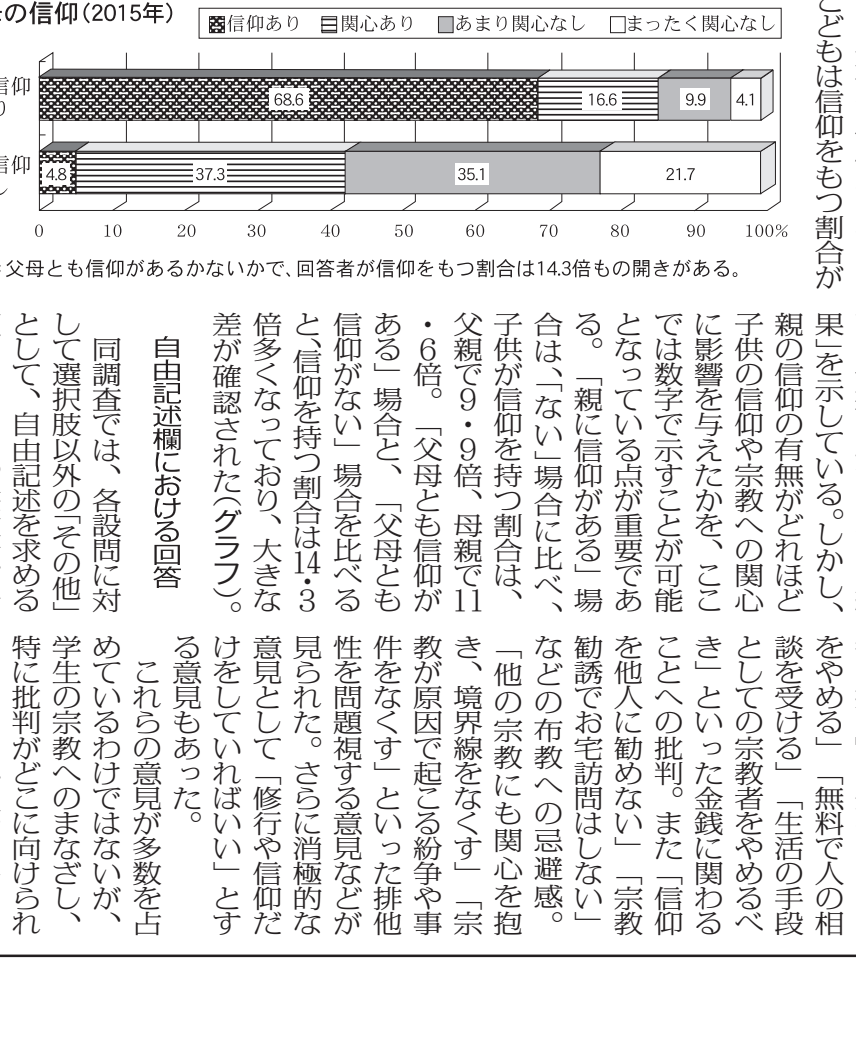
参加教団の5人が祈りを込めて玉串を奉納

北へ笑顔の架け橋を「を」コンセプトに開催している。今回、解散会大阪教団青年部は、東北・北海道産品の「フリス」をテーマに物産展(写真)。復興支援のために、宮城県南三陸町から仕入れた海産類加工品・缶詰、熊本から仕入れた出汁や飲料を販売した。Loveフェスは、3月10日のNHKで放送された影響もあってか、売れ行きは好調で、閉会時間を待たずに完売した。

参加教団の代表5人が、震災犠牲者の慰霊と早期復興の祈りを込めて作成した千羽鶴を一列に並んで奉納した。その後、P.L.天恩教、松緑神道大和山、立正佼成会による「教団別の祈り」が捧げられ、全員で黙祷を行った。

参加教団の代表5人が、震災犠牲者の慰霊と早期復興の祈りを込めて作成した千羽鶴を一列に並んで奉納した。その後、P.L.天恩教、松緑神道大和山、立正佼成会による「教団別の祈り」が捧げられ、全員で黙祷を行った。

参加教団の代表5人が、震災犠牲者の慰霊と早期復興の祈りを込めて作成した千羽鶴を一列に並んで奉納した。その後、P.L.天恩教、松緑神道大和山、立正佼成会による「教団別の祈り」が捧げられ、全員で黙祷を行った。



「学生宗教意識調査総合分析」刊行

1995(平成7)年から2015(同27)年にかけて、国学院大学日本文化研究所プロジェクトと「宗教と社会学会(宗社会学会)」が実施した「学生宗教意識調査」が実施された。昨年まとめた20年間の調査をまとめた『学生宗教意識調査総合分析(1995年度~2015年度)』を刊行。今年2月に刊行された『学生宗教意識調査総合分析(1995年度~2015年度)』と同報告書で示された調査結果を体系的に比較考察し、さらにクロス集計を用いて多角的な分析を試みている。

父母の信仰(2015年)

親の信仰の有無が、子供の高なり宗教にほのぼの、あるいはまったく関心がないという割合が低くなること、父母が信仰をもつことは、信仰をもつ割合が高いことが示されている。しかし、果ては信仰をもつ割合が親の信仰の有無がどれほど子供の信仰や宗教への関心に影響を与えたかを、ここでは数字で示すことが可能となっており、重要な点である。「親に信仰がある」場合、信仰が「ない」場合と比べて、子供が信仰を持つ割合は、父親で9.9倍、母親で11.6倍。「父母とも信仰がある」場合と「父母とも信仰がない」場合と比べて、信仰を持つ割合は14.3倍多くなっており、大きな差が確認された(グラフ)。「自由記述欄」に対する回答も多かった。この結果は、各設問に対して選択以外の「その他」として、自由記述を求める項目もあった。宗教者が行うべき活動を問うた調査で、

公開シンポ「記憶としての葬儀」を開催 葬儀をめぐる問題を議論

国際宗教研究所



国際宗教研究所(島園進理事長)は2月24日午後1時から、東京都千代田区の上智大学で公開シンポジウム「記憶としての葬儀」を開催した。シンポの趣旨は、無宗教で葬儀を行わない直葬や散骨、自然葬など葬儀の形態が変容することが、故人への記憶を抱いて葬儀に参列した人々にとって何が異なるか、どのような影響を与えるか―を考察するもの。

日本人初の宇宙飛行士 秋山氏が核の危険性訴える

WFM共催 第2回世界連邦講演会

世界連邦運動協会(WFM)大阪愛善会支部(松本達也支部長)は同和問題にとりくむ大阪宗教連絡会議(大宗連)若林正信議長との共催で3月3日の午後1時半から、大阪市西区の玉水記念館で「第2回世界連邦講演会」を開催。目録として「経済的効果、目標得での葬祭と考えたり、損には見えない霊魂を死後には消滅してしまおうと捉えて粗末に扱ったりするべきではない」と述べた。



秋山氏が講演する様子。背景には「生命は核と共生できるのか」というスライドが見える。

時代に合った見方が必要 「宗教の未来を話そう」

「宗教の未来を話そう」シンポジウム

仏教伝道協会(会長川本村清孝東京大学名誉教授)は2月27日午後6時半から、東京都港区の仏教伝道センタービルで「宗教の未来を話そう」をテーマにした第14回BDKシンポジウムを開催した。



シンポジウムで発言する参加者たち。背景には「宗教の未来を話そう」というスライドが見える。

国際宗教研究所常務理事で國學院大学教授の井上順孝氏がコメント。自身が所長を務める國學院大学日本文化研究所が行った「日本の宗教意識調査(1999-2015)」の分析結果の中から、霊魂や死後の世界、葬儀に関する分析を紹介した。

北朝鮮は「向こう岸」

特定失踪者問題調査会

特定失踪者問題調査会(荒木和博代表)は3月14日午後6時半から、東京都文京区の拓殖大学で活動報告会を開催した。報告会には「その後」を考える集い、冒頭、今月5日に特定失踪者問題調査会やメジャーらが石川県志賀町や金沢市安原海岸で行った、北朝鮮漁船着現場を特別検証したビデオ映像を上映した。

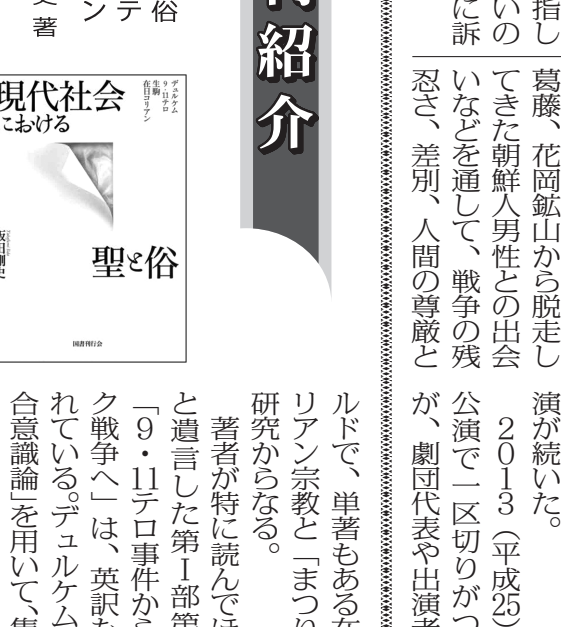


北朝鮮は「向こう岸」をテーマにした講演の様子。

相模原事件が問う現代社会

大 宗 連 基 礎 講 座 を 開 催

野澤氏が論点を分け説明。捜査の過程について、精神的障害があっても「行政や医療が、彼に命を奪う」というのが、相模原事件が問う現代社会の課題である。また、事件の背景にある「弱者」の排除は価値観を単一化している恐れがあると述べた。

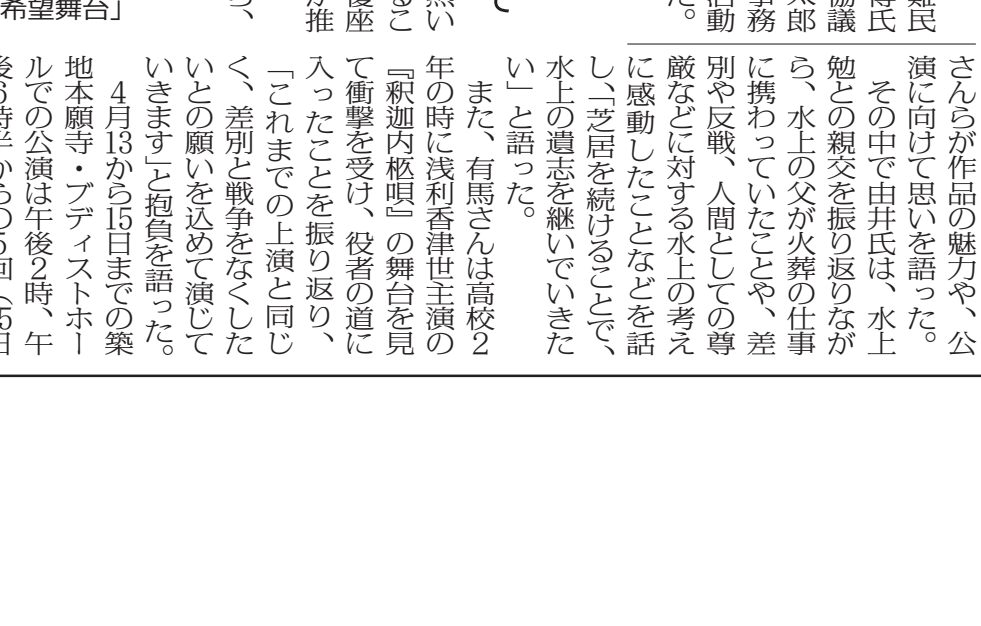


野澤氏が講演する様子。

『釈迦内極唄』再公演へ

劇団希望舞台 4月13日から築地本願寺で

1945(昭和20)年6月、強制労働を強いられる中国人が秋田県花岡鉱山で起きた「花岡事件」をモチーフにした、水上勉の戯曲『釈迦内極唄』。劇団希望舞台は4月13日から築地本願寺で再公演を行う。



劇団希望舞台の『釈迦内極唄』の公演の様子。

戦争、差別描く

1000回目指し全国巡演

『釈迦内極唄』は花岡鉱山の近く、釈迦内村で死体焼き場の仕事に就く家族の物語。忌み嫌われる仕事を引き継ぐことになった娘の葛藤、花岡鉱山から脱走してきた朝鮮人男性との出会いなどを通じて、戦争の残酷さ、差別、人間の尊厳と向き合う。劇団代表や出演者、再演が繰り返されている。

野澤氏が論点を分け説明。捜査の過程について、精神的障害があっても「行政や医療が、彼に命を奪う」というのが、相模原事件が問う現代社会の課題である。また、事件の背景にある「弱者」の排除は価値観を単一化している恐れがあると述べた。

現代社会における「聖と俗」の対立。本書は書名に端的に示されている通り、フランスの社会学者・デュルケム(1858-1917)の宗教社会学理論の批判的継承をもとに、9・11テロやメリカ社会、生駒山の民俗学、在日コリアン社会などが分析されている。「聖と俗」というのは、デュルケムの宗教論の核心部分の一つで、彼は宗教の本質を聖と俗を分離することと捉えた。